



令和5年3月24日

第11号

あきる野市立御堂中学校

校長 三浦 利信

<http://www.akiruno.ed.jp/jh-midou/>

学校だよりの題字は、御堂中書道部の生徒によるもの

大きな成果を41年目の春に

校長 三浦 利信

令和4年度が終わろうとしています。コロナ禍も3年目となり、感染症対策の制約はありましたが、体育大会や合唱コンクール、修学旅行、移動教室と予定していた教育活動を実施することができ、生徒の確かな成長が見られた1年でした。特に3月17日に卒業式を迎えた3年生は、入学式前日に臨時休校が決まり、2ヶ月遅れの6月1日に入学式を挙行了しました。入学当初は先生方に注意されることも多く見られましたが、「経験を成長に換える」力が素晴らしく、3年生になると「御堂中の顔」として、下級生のよき手本となりました。御堂中は41年目の春を迎えます。5月2日には創立40周年記念式典も予定しています。右の航空写真は、40周年を記念して、東京都の「子供を笑顔にするプロジェクト」でドローンで撮影した写真です。開校当時と比べて学校の周辺も大きく変わりました。何より、航空写真がセスナでは無く、ドローンが使われていることにも、時代の変化を感じます。今後とも積み上げた伝統を基に、新たな歴史を創っていきたいと思います。



右の「挨拶は御堂の顔」は、創立30周年記念誌の巻頭を飾った、当時の在校生の書道作品です。御堂中のキャッチフレーズとも言えるこの言葉は、進路面接の練習でも多くの3年生が学校の特色として答えます。「挨拶をすることで清々しい気持ちになった」、「挨拶をしたことがきっかけで仲良くなれた」と、自分たちの経験をもとに挨拶の素晴らしさを話してくれます。少し前に「あいさつは魔法の力」という歌がありましたが、歌詞に「あいさつでこのまちかえよう」とあり、御堂中生のあいさつで、明るく、活気ある地域にできるよう、継続して取り組んでいきたいと思っています。



大変お世話になりました

東京都教育委員会の人事異動発表のスケジュールが変わり、例年4月1日に発表される人事異動が、3月21日に発表になりました。御堂中でも、校長並びに近藤主幹教諭が転任、林非常勤教員が退職になります。在職期間中、ほぼほぼコロナ対応に終始した感じでしたが、生徒の頑張りや保護者・地域の皆さまのご理解・ご協力で、多くの教育活動を進めることができました。改めて、感謝申し上げます。新転任教職員の紹介は、新年度とさせていただきます。

